

シグナルマークについて

シグナルマークは危険のレベルを表します。それぞれのマークの内容をよくご理解頂いた上で必ず記載の注意事項を守ってください。

△警告 - 取扱いを誤った場合に、**死亡・重傷の危険が発生する可能性があります。**

△注意 - 取扱いを誤った場合に、**軽傷を負うか、物的損害を負う危険が発生する可能性があります。**

積載物と積載物の制限について

- △注意 最大積載重量は60kgまでです。過積載は絶対に行わないでください。
使用状況によっては60kg未満でも屋根の変形及び、キャリアが破損する場合があります。
また過酷な使用、制限を超える積載を行うことにより60kg未満でも積載能力は変化し低下いたします。
- △注意 本製品は荷物用の積載キャリアです。次の物は積載しないでください。
[スキー板・ストック・スノーボード・サーフボード・自転車・コンテナ・ウィンドサーフィン
ポール・ブーム・ボート・カヌー・カヤック]
- △注意 下記の大きさを超える荷物は積載しないでください。又積載物がキャリアからはみ出す場合は、
はみ出し量は前後均等にはみ出すようにしてください。

品 番	積載物の制限 (単位=mm)		
	長さ	幅	高さ
SA-34	4700	1440	600



取扱い上の注意

- △警告 走行前には必ず、各締付け部にユルミが無いかを点検してください。
→締付け部にユルミがあると、思わぬ脱落事故を起こします。
- △警告 初期ユルミが発生しますので、初回30キロ走行後には必ず各締付け部を増締めしてください。
- △警告 キャリアの装着時は特に法定速度を守り、急発進・急ブレーキ・急ハンドル等の過酷な避け、悪路では徐行してください。
- △警告 走行中にキャリアからガタツキ音等の異常音が聞こえた場合は速やかに停車しキャリアの状態を確認してください。
- △注意 積載物をキャリアに固定する際は、脚部、を利用してロープ等で固定しないでください。
→脚部に集中的に大きな負担がかかり、脚部のネジ取付け部に緩みが発生し破損及び脱落の原因になります。
- △注意 積載物の重量の配分はどちらか(左右)に片寄らないようにしてできるだけ均等に平坦に積載してください。
→積載物が片寄ってしまうと運転に支障が生じたり、キャリアにも変則的な力がかかり破損や脱落事故の原因になります。
- △注意 積載物をキャリアから載せたり、降ろしたりする際はキャリアに衝撃がかからないようにゆっくりと行ってください。
→強い衝撃[集中的荷重]がかかることによりキャリアの破損及び脱落の原因になります。
- △注意 キャリアからはみ出す長尺物を積載した状態でバックドアを開けないでください
→バックドアのガラス面が当たり破損の原因になります。
- △注意 キャリアの装着時及び荷物を積載している時は車両の地上高が高くなる為、駐車場・高架等の高さ制限のある場所を通過する場合には十分ご注意ください。

海外使用について

本製品は、日本国内使用専用となります。海外(他国)使用により発生した際の品質保証は一切お受けいたしておりませんのでご注意ください。(対外規格は取得しておりません)また万一の事故、損害等のあらゆる責務に対しても、当社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

事故が起きたときは

製品の欠陥などにより万一事故が発生した時は速やかに販売店又は弊社までご連絡ください。
事故対応をスムーズに行うためにお客様には以下の事をお願いします。

- (1)事故製品の確保・・・事故発生時のままの状態のもの(製品をバラしたりしない)
- (2)損害の内容・・・損害を受けた現物、また損害を証明できるもの
- (3)事故発生状況・・・日時、場所、事故発生状況、公共機関への届出(事故届、紛失届)
(いつ・どこで・何が・どのように)

お客様の誤った組立て、取付け、使用による事故等の責任は一切負いかねますのでご了承ください。

Rocky+ ロッキープラス株式会社

名古屋守山区元郷2-107 TEL 052-778-7876 FAX 052-778-7718

http://www.rocky.ne.jp rocky@rocky.ne.jp

ROCKY ROOF CARRIER

S Aシリーズ 取扱い説明書 ②

品番 / SA-34 NV350キャラバン・コモ専用

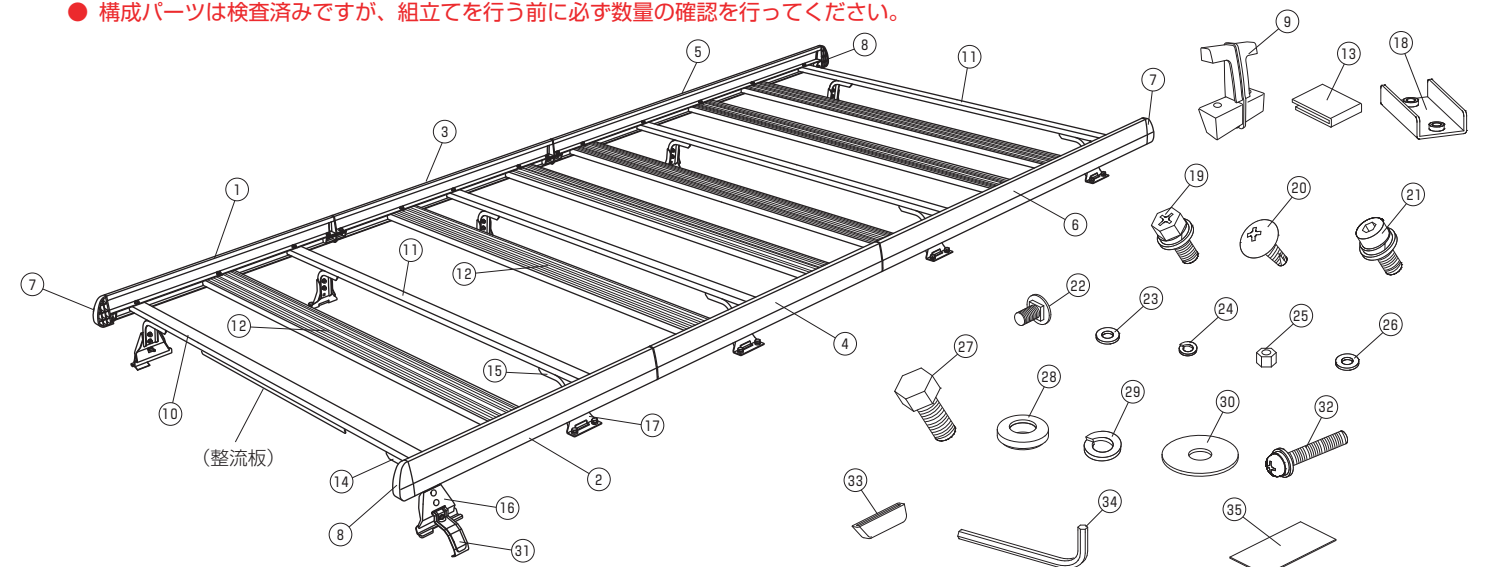
この度は、ロッキールーフキャリア「SAシリーズ」をお買い上げいただきありがとうございます。
常に安全な状態でご使用して頂く為に「取扱い説明書」をよくお読みの上正しくご使用ください。
尚、販売店にて本製品を取付けられましたら本書を必ずお客様にお渡しください。
製品(組立て・取付け等)についてご不明な点はお買い求めの販売店又は、弊社までお問い合わせください。
誤った組立て、取付け、使用による事故の責任は一切負いかねますのでご了承ください。

ご使用前に

- △警告 本製品は、ニッサン・NV350キャラバン(E26系)、イスズ・コモ(E26系)「標準ルーフ」専用キャリアになります。
他の車両には取付けしないでください。
- △警告 本製品の改造は絶対に行わないでください。
本製品の改造による事故責任は一切負いかねます。
- 「例」 部品類の穴あけ加工
市販品のアタッチメントを使用して荷物(スキー・自転車)等の積載
本製品以外の部品による組立て及び、部品交換
積載面を合板等で覆う
- △警告 部品不足での使用は絶対に行わないでください。
- △注意 キャリアを取付けた状態で洗車機にかけないでください。
キャリアに無理な力がかかり、ルーフの変形等の損傷を車に与えます。
- △注意 本製品には積載物の制限があります。制限を超える物は絶対に積載しないでください。
又、積載物がキャリアから、はみ出す場合は、はみ出し量は前後均等に積載してください。
裏面、「積載物と積載物の制限について」をよくお読みください。

構成パーツ

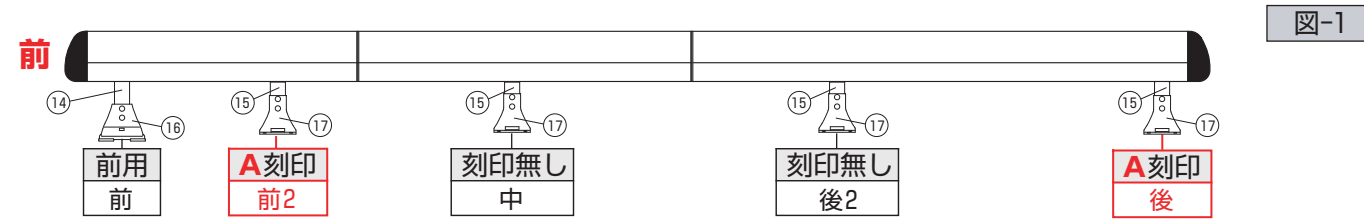
- 構成パーツは検査済みですが、組立てを行う前に必ず数量の確認を行ってください。



No	部品名称	数量	No	部品名称	数量	No	部品名称	数量	No	部品名称	数量
①	サイドフレーム(前/右)	1	⑩	脚フレーム(整流板付)	1	⑲	④六角ボルトセットM6	30	⑳	シール座金	16
②	サイドフレーム(前/左)	1	⑪	脚フレーム	4	㉑	④タッピングビス5ミリ	4	㉒	バネ座金 M8	16
③	サイドフレーム(中間/右)	1	⑫	デッキフレーム(クリアット付)	6	㉓	キャップボルトセットM6	20	㉔	防水ゴムシート	16
④	サイドフレーム(中間/左)	1	⑬	ゴムパッキン	24	㉕	角根ボルトM6	20	㉖	前用取付フック	2
⑤	サイドフレーム(後/右)	1	⑭	前用脚ステー	2	㉗	平座金 M6	20	㉘	④丸ネジセットM6	2
⑥	サイドフレーム(後/左)	1	⑮	脚ステー	8	㉙	バネ座金 M6	20	㉚	前用インナー保護キャップ (⑩に組付け)	4
⑦	先端キャップ(R)	2	⑯	前用インナーランプ	2	㉛	六角ナット M6	20	㉜	L型レンチ	1
⑧	先端キャップ(L)	2	⑰	インナーランプ	8	㉝	ナイロンワッシャー	40	㉞	保護シート	2
⑨	中間ジョイント	4	⑱	ナットプレート	10	㉟	六角ボルト M8	16			

組立て方法

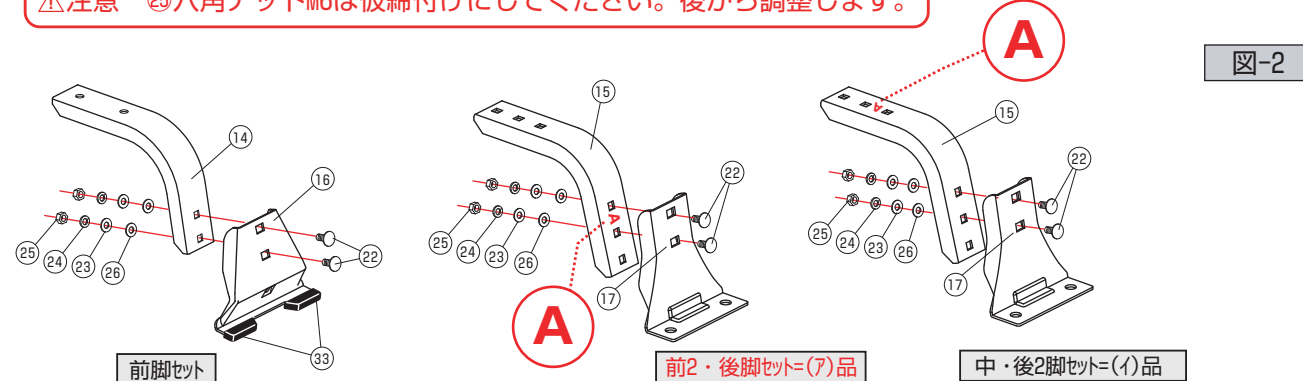
1 ⑭⑮脚ステーと⑯⑰インナーランプを組付けて3種類(計10セット)の「脚セット」を組立てます。〔図-1〕



- ・「前」は⑭前用脚ステーと⑯前用インナーランプ(⑳インナー保護キャップ付)を㉑角根ボルトM6、㉒ナイロンワッシャー、㉓平座金M6、㉔バネ座金M6、㉕六角ナットM6にて図のように**仮組付け**します。
- ・「前2と後」は⑮脚ステー裏側の**A刻印面**の**上2つの角穴**に⑰インナーランプを上と同じ要領で**仮組付け**します。
- ・「中と後」は⑮脚ステー裏側の**刻印無し面**の**上2つの角穴**に⑰インナーランプを上と同じ要領で**仮組付け**します。

〔図-2〕

△注意 ㉕六角ナットM6は仮締付けにしてください。後から調整します。

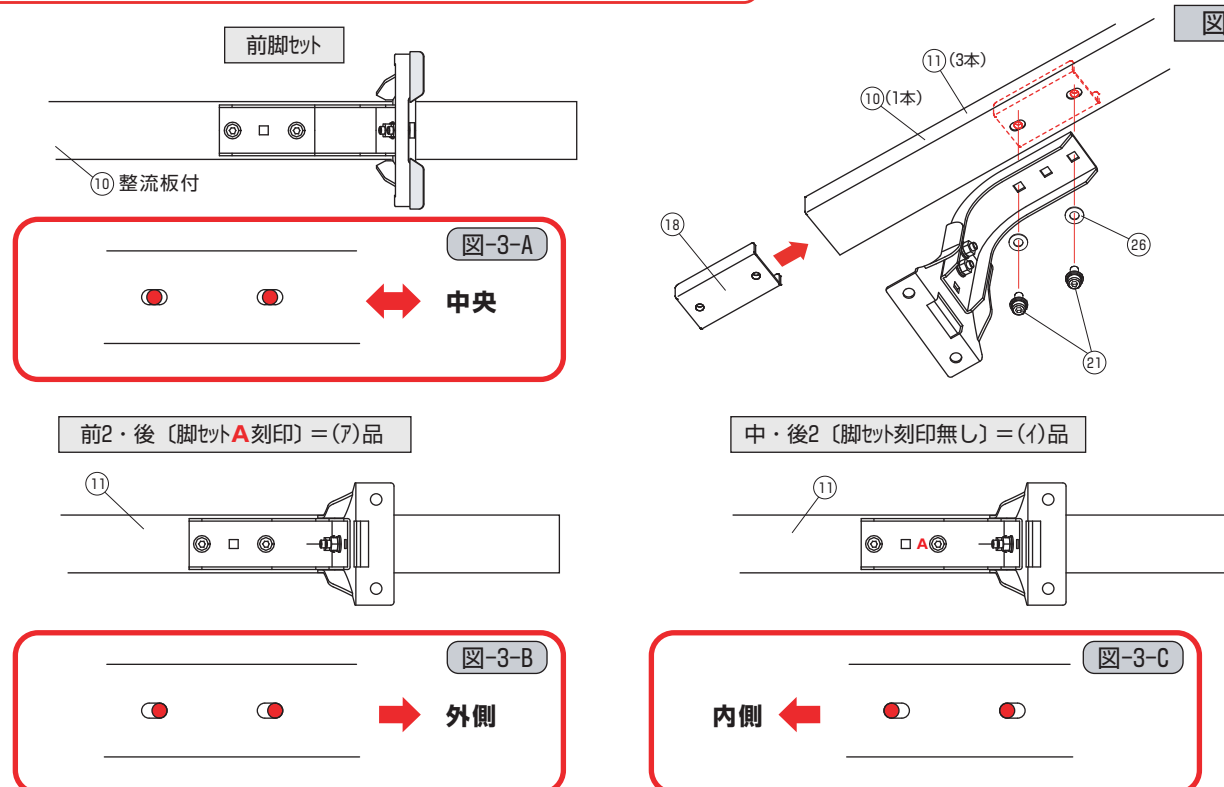


2 3種類(計5セット)の「脚フレームセット」を組付けます。
組付けは⑩⑪脚フレームの中に⑬ナットプレートの向きに注意して通し、「1」で組立てたそれぞれの脚セットを㉑キャップボルトセットM6、㉒ナイロンワッシャーにてしっかりと締付けます。〔図-3〕

- 1 「前脚セット」は⑩脚フレーム(整流板付)の楕円穴の「中央」の位置にて組付けます。(1セット)〔図-3-A〕
- 2 「前2・後脚セット」は⑪脚フレームの楕円穴の「外側」の位置にて組付けます。(2セット)〔図-3-B〕
- 3 「中・後2脚セット」は⑪脚フレームの楕円穴の「内側」の位置にて組付けます。(2セット)〔図-3-C〕

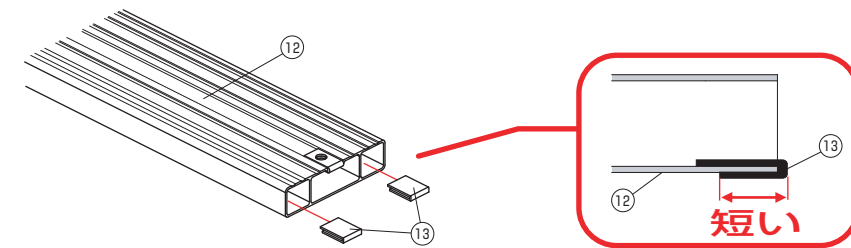
△注意 脚フレームと脚セットは必ず平行に組付けてください。

〔図-3〕



3 ⑫デッキフレームの両端下面に⑬ゴムパッキンをはめます。
この時、⑬ゴムパッキン・ベラの短い方が下になるようにしてください。〔図-4〕

〔図-4〕



4 「前用キャリア枠」を組立てます。

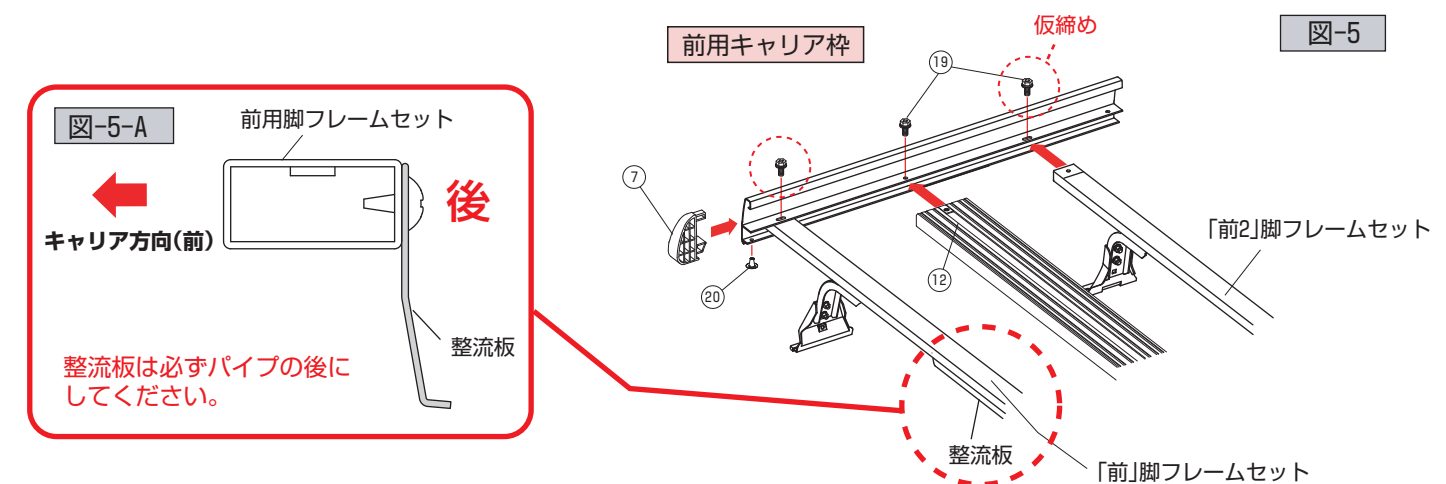
- ・「前用」①②サイドフレーム(前/左右)に「組立て方法[3]」で組立てた「前用」脚フレームセットと⑫デッキフレーム1本を差込み、⑲⑳六角ボルトセットM6で組付けます。「前用」脚フレームセット側の①②サイドフレーム先端に㉑㉒先端キャップ(R/L)をはめ込み下から㉓㉔タッピングビス5ミで固定します。〔図-5・前用キャリア枠〕

△注意 ・「前用」脚フレームセットを①②サイドフレームに差込む際は、整流板が必ずパイプの「後」にある状態で差込んでください。〔図-5-A〕 「前」に整流板があると高速走行時に「異音」が発生します。

△注意 ・「右」=運転席側 「左」=助手席側となります。

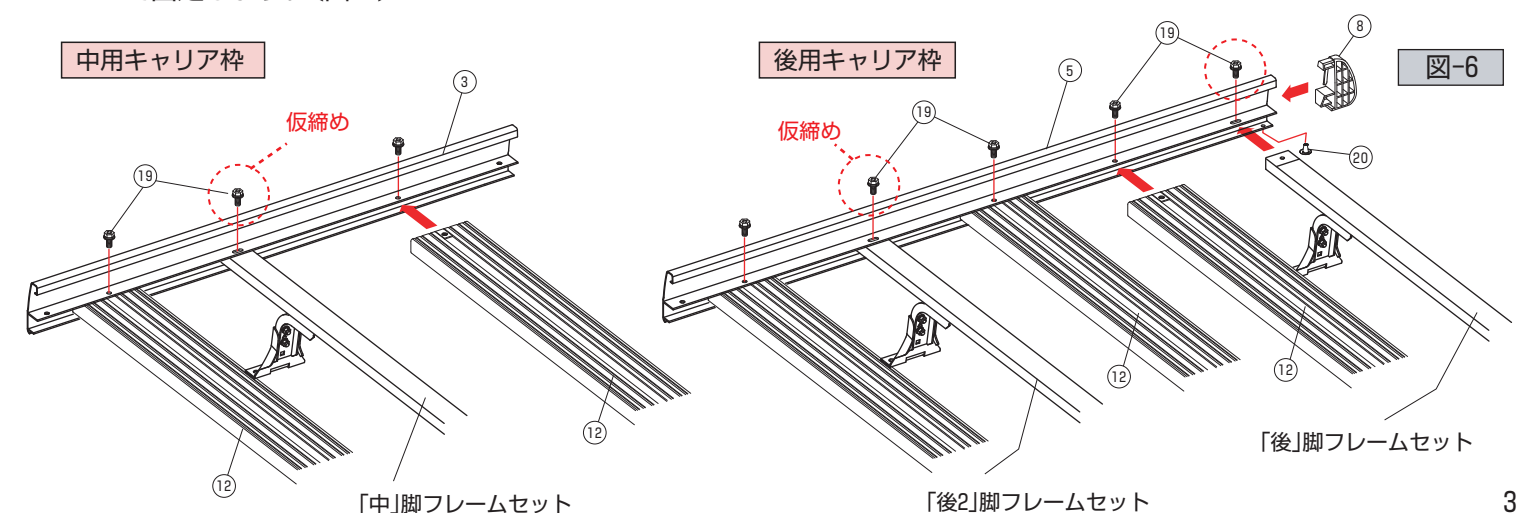
- ・⑫デッキフレームに組付けた、⑬ゴムパッキンは異音防止効果がある為、必ず取付けた状態で①～⑥サイドフレームに差込んでください。硬くて差込み難い場合は⑬ゴムパッキンとサイドフレームに中性洗剤を塗ると差込みやすくなります。
- ・脚フレームセットを組付ける際は仮締めにておいてください。

〔図-5〕



5 「中用キャリア枠」と「後用キャリア枠」を組立てます。

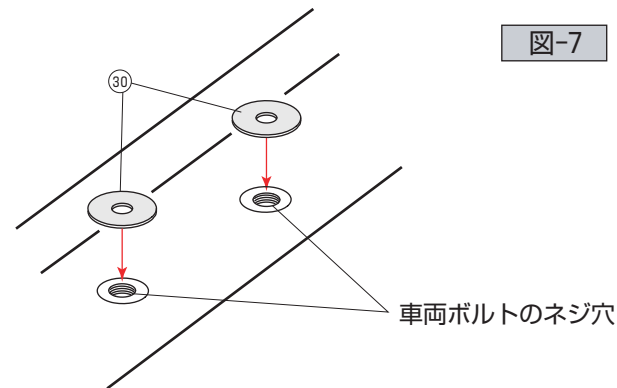
- ・「中用」[4]同様、③④サイドフレーム(中/左右)に「組立て方法[3]」で組立てた「中用」脚フレームセットと⑫デッキフレーム2本を差込み、⑲⑳六角ボルトセットM6で組付けます。〔図-6・中用キャリア枠〕
- ・「後用」⑤⑥サイドフレーム(後/左右)に「組立て方法[3]」で組立てた「後2用」脚フレームセットと⑫デッキフレーム3本を差込み、⑲⑳六角ボルトセットM6で組付けます。「後」脚フレームセット側のサイドフレームの先端に㉑㉒先端キャップ(R/L)をはめ込み下から㉓㉔タッピングビス5ミで固定します。〔図-6〕



取付け方法①

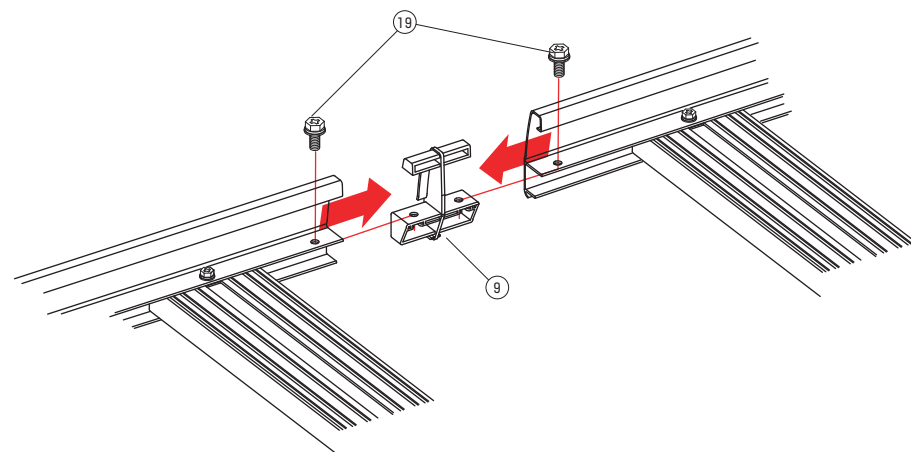
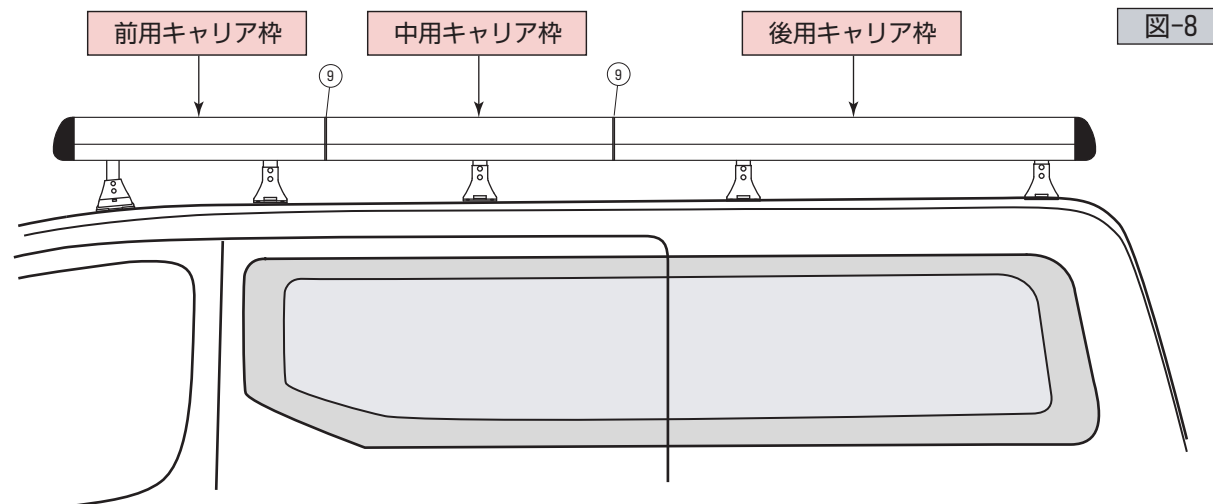
- 1 屋根に組付けてある車両ボルトを左右16ヶ所外し、周辺の埃や汚れをきれいに拭き取ります。
車両ボルトを外したネジ穴と⑩防水ゴムシートの穴の中心を合わせて屋根に貼り付けます。〔図-7〕

△注意 屋根の穴とネジ穴は若干ズレています。ネジ穴の中心に貼り付けてください。



- 2 「組立て方法4・5」で組立てた3種類の「キャリア枠」を1セットずつ屋根の上に載せ、それぞれを⑨中間ジョイントにて繋ぎ合わせ、⑪六角ボルトセットM6にてしっかりと固定します。〔図-8〕

△注意・キャリア枠を屋根に載せる際は4人以上でゆっくりとキズをつけないように慎重に行ってください。
・「中用キャリア枠」を屋根に載せる際は枠の前後の向きに注意して載せてください。
※サイドフレームに貼ってあるラベルで向きの確認を行ってください。
「中・右」=運転席側 「中・左」=助手席側



取付け方法②

- 3 「前」以外の⑪インナーランプの穴と車両ボルトのネジ穴の位置が一致しているかの確認を行います。〔図-9〕

△注意 穴に一致しない場合は再度、「組立て方法2・4」の調整を行ってください。

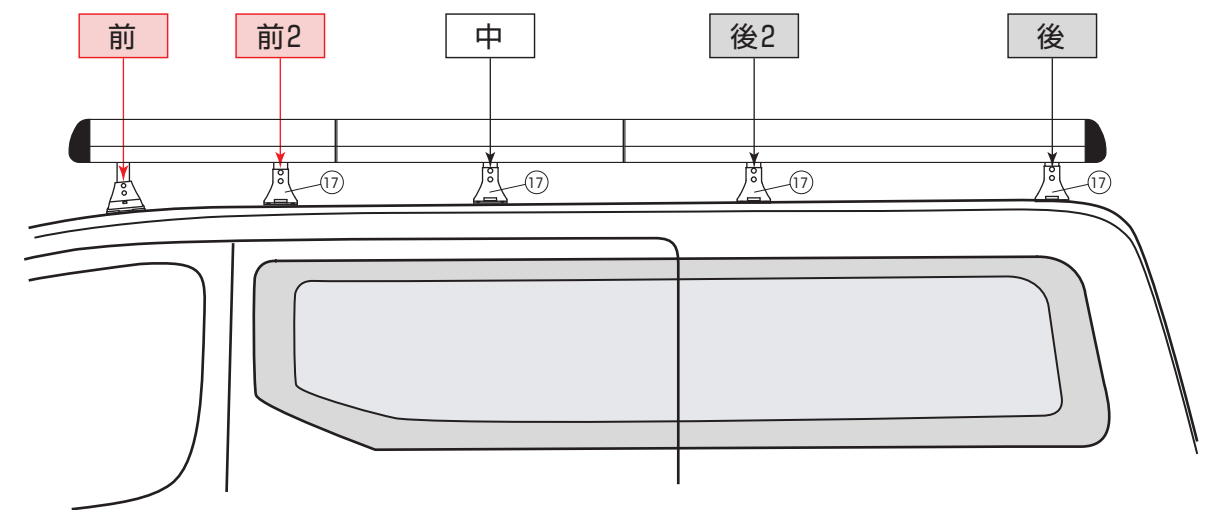
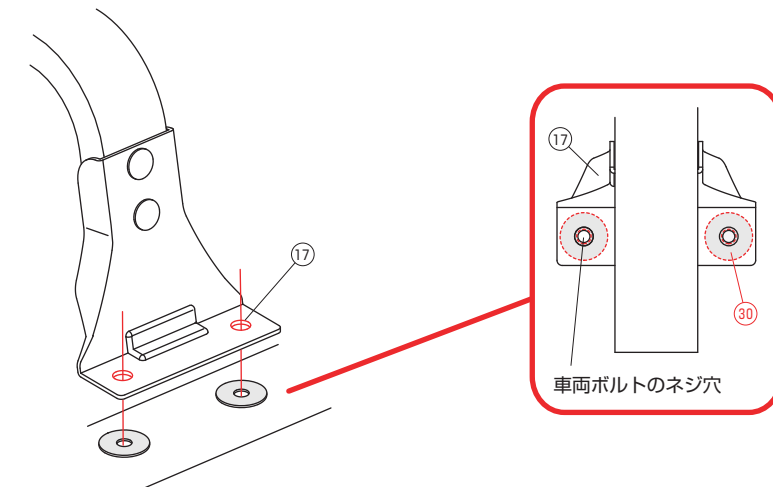


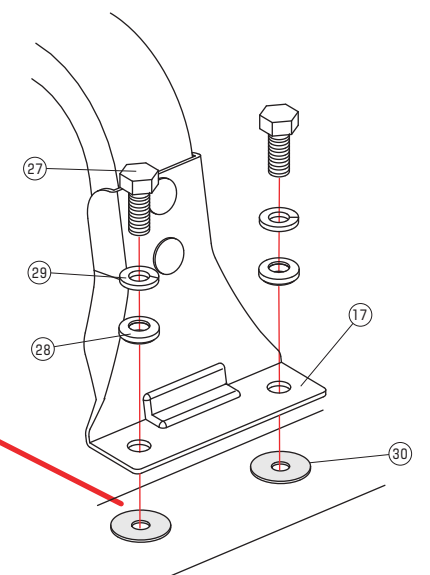
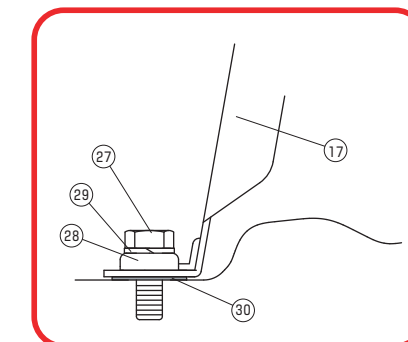
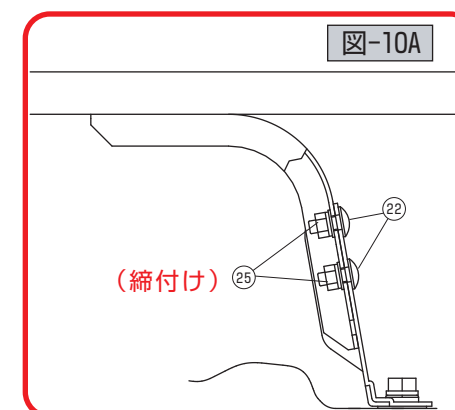
図-9



- 4 穴位置と穴面の浮きの確認後、「組立て方法1」で仮組付け状態の⑫六角ナットM6をしっかりと締付けます。〔図-10A〕
その後⑪インナーランプの穴に⑫六角ボルトM8、⑬バネ座金M8、⑭シール座金の順で組込みしっかりと締付けます。〔図-10〕

△注意 ⑫六角ナットM6を必要以上に締めると⑬角根ボルトM6が折れます

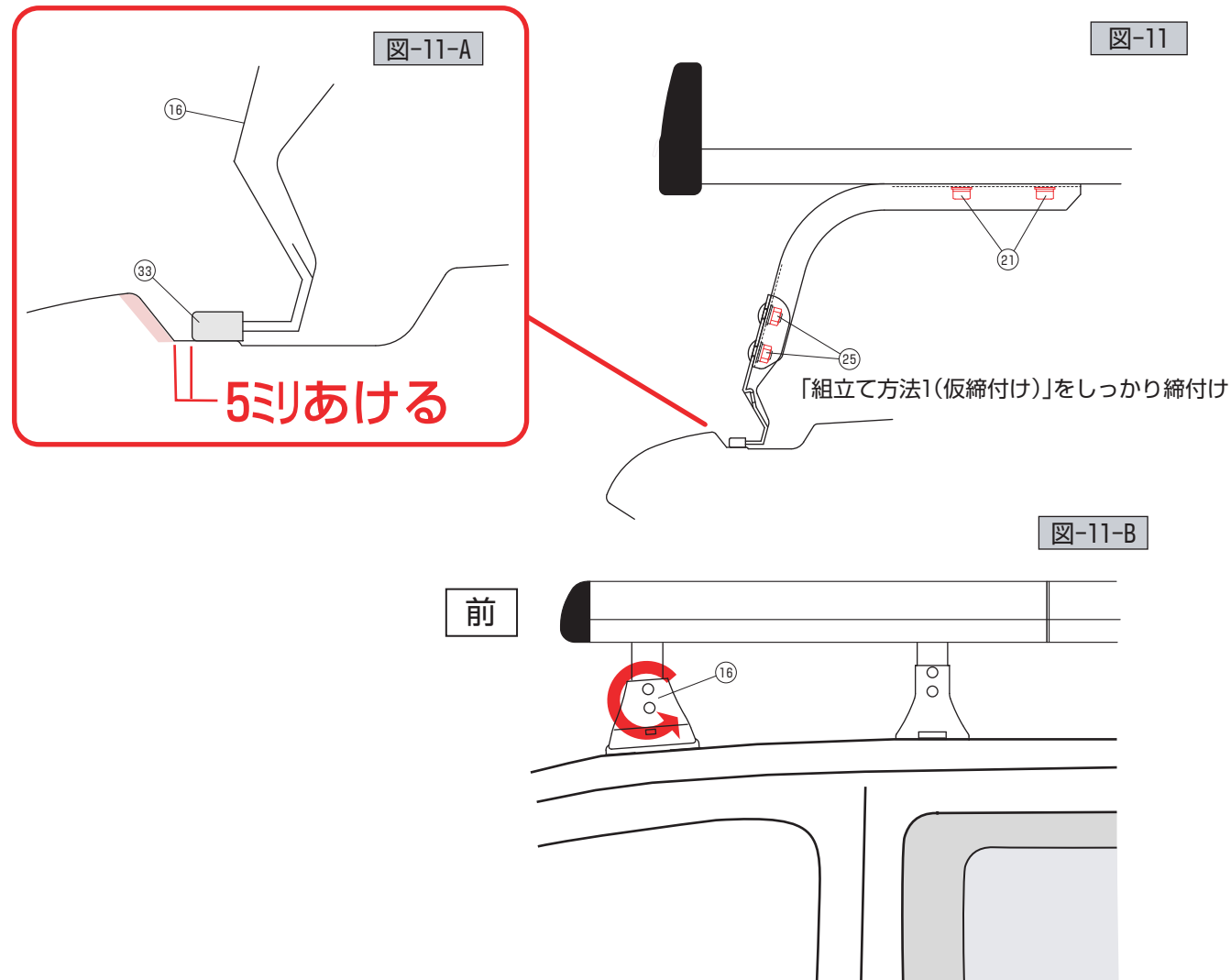
図-10



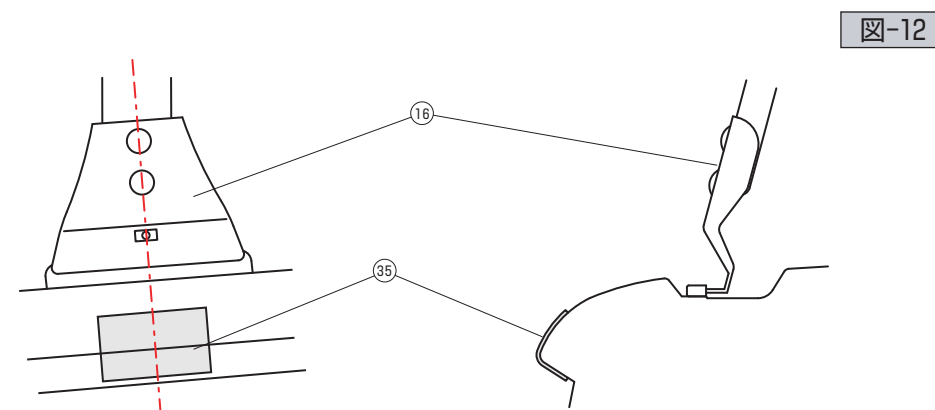
取付け方法③

- 5 「前」の取付けは⑩前用インナーランプの下端に差し込んである③③前用インナー保護キャップが屋根の凹部の手前側面の壁との隙間を`5ミリ、程度あけた状態にセットします。〔図-11-A〕
左右共に5ミリあけた状態を確認後②②キャップボルトセットM6をしっかりと締付けます。〔図-11〕

そして屋根の前方は少し傾斜している為、⑩前用インナーランプを傾け、傾斜に馴染ませます。〔図-11-B〕
その後「組立て方法1」で仮組付け状態の②⑤六角ナットM6をしっかりと締付けます。〔図11〕



- 6 ⑩前用インナーランプの垂直線上で③①前用取付フックの引っ掛かる箇所に③⑤保護シートを横向きにして図のように貼り付けます。〔図-12〕

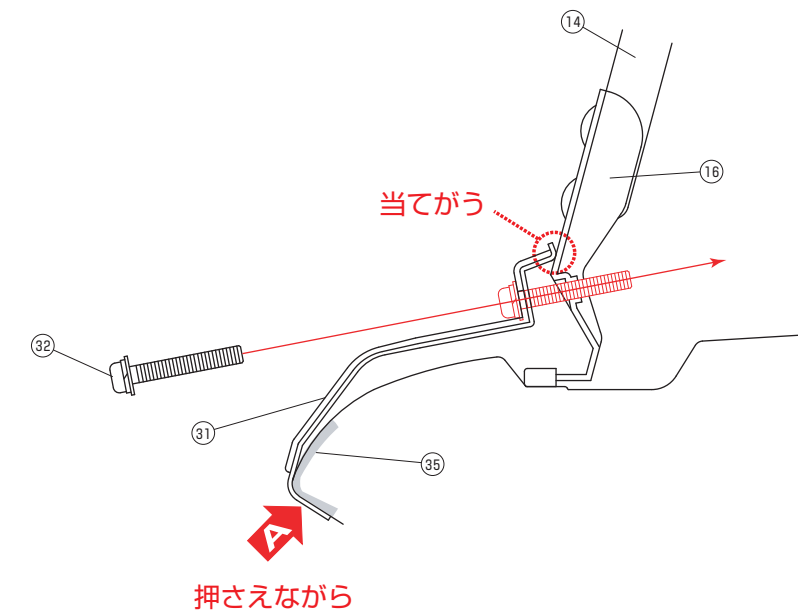


取付け方法④

- 7 ⑩前用インナーランプに③①前用取付フックを締付けます。
③①前用取付フックの下をドアに引っ掛け、フック上端は⑩前用インナーランプに当てがいます。
締付けは[A]部を指で押さえながら②④丸ネジセットM6にて左右均等にゆっくりしっかりと締付けます。〔図-13〕

△注意 電動ドライバーによる締付けは行わないでください。

図-13



- 8 最後に全ての締付ボルトがしっかりと締付られているか確認してください。
その後、キャリアを前後左右に揺すりガタツキが無いことを確認し、ガタツキがある場合は再度取付けをやり直してください。